

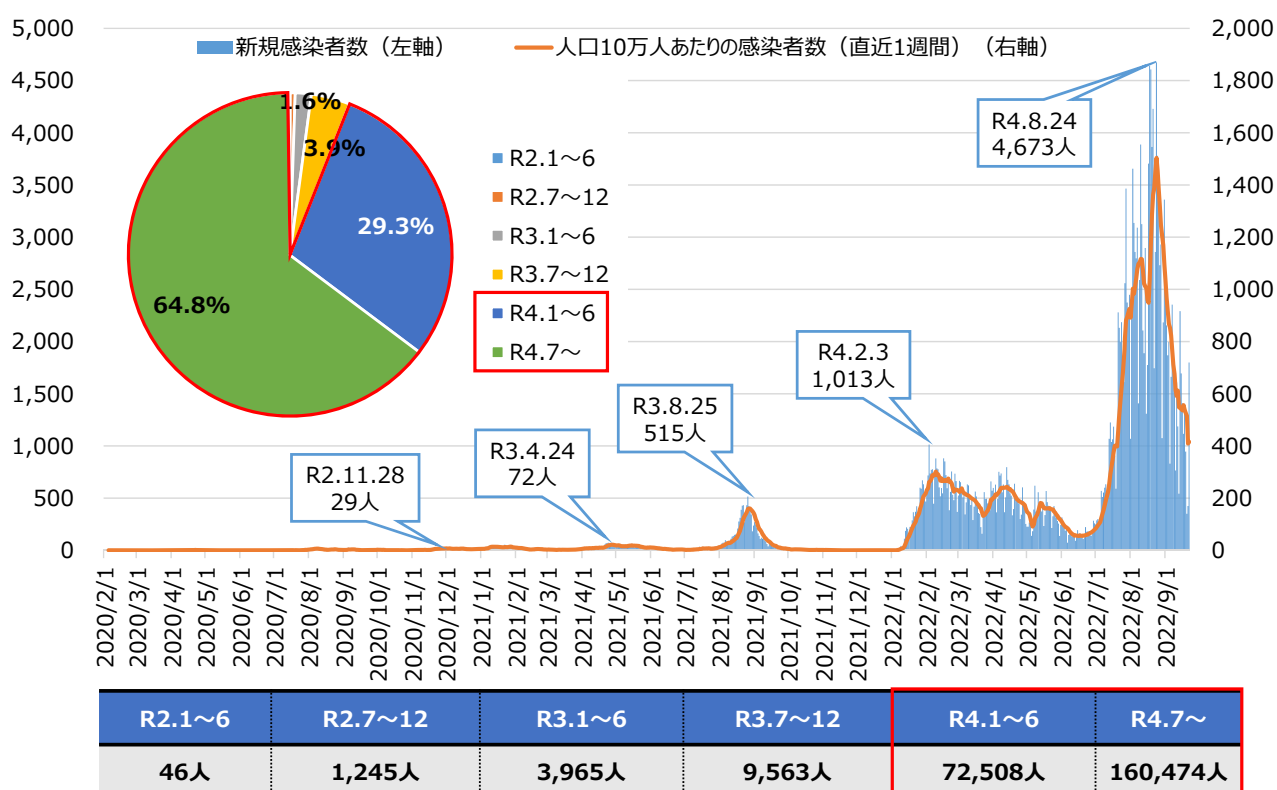
三重県内COVID-19の現状とふり返り

三重県医療保健部 情報分析・検査プロジェクトチーム
情報分析班 係長 原 康之

三重県発生状況1

集計期間：R2.1.30～R4.9.22

【感染者数の推移】

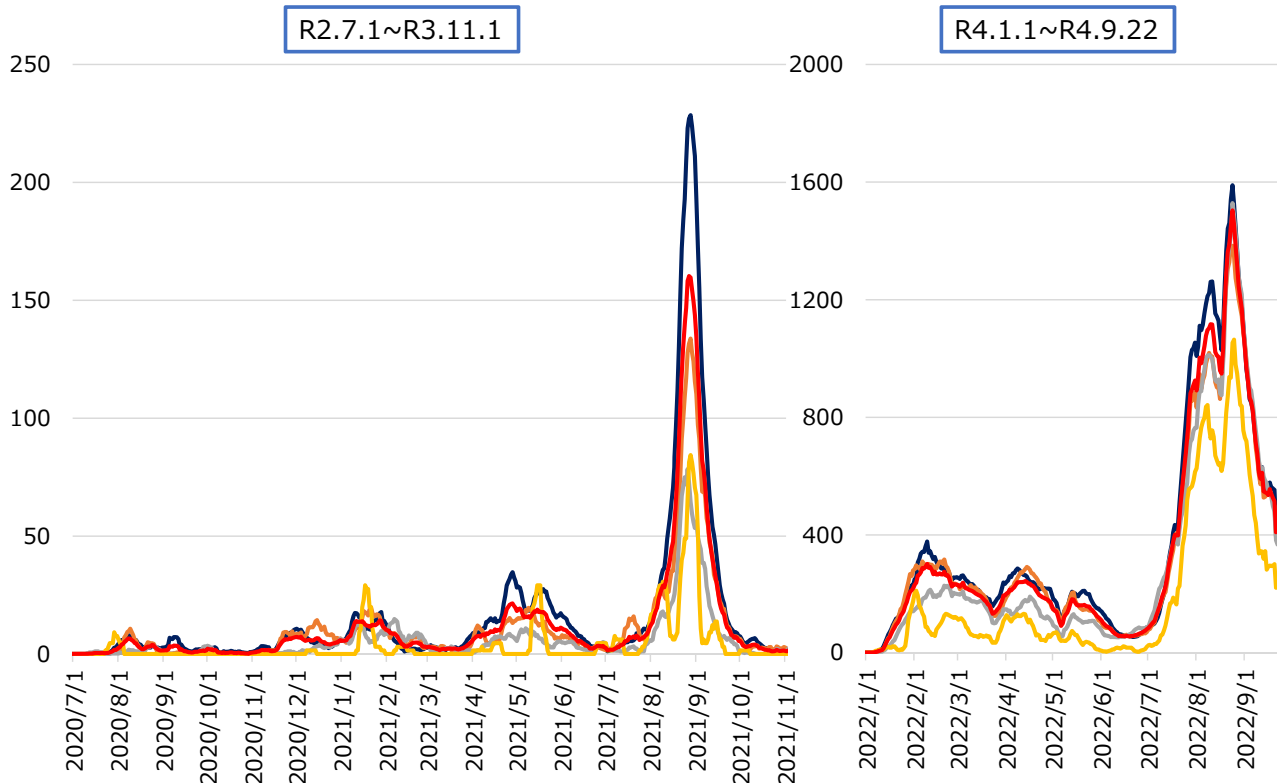


三重県発生状況2

1週間移動合計対人口10万人
集計期間：R2.7.1～R4.9.22

【感染者数の推移（医療圏別）】

— 北勢 — 中勢伊賀 — 南勢志摩 — 東紀州 — 県全体



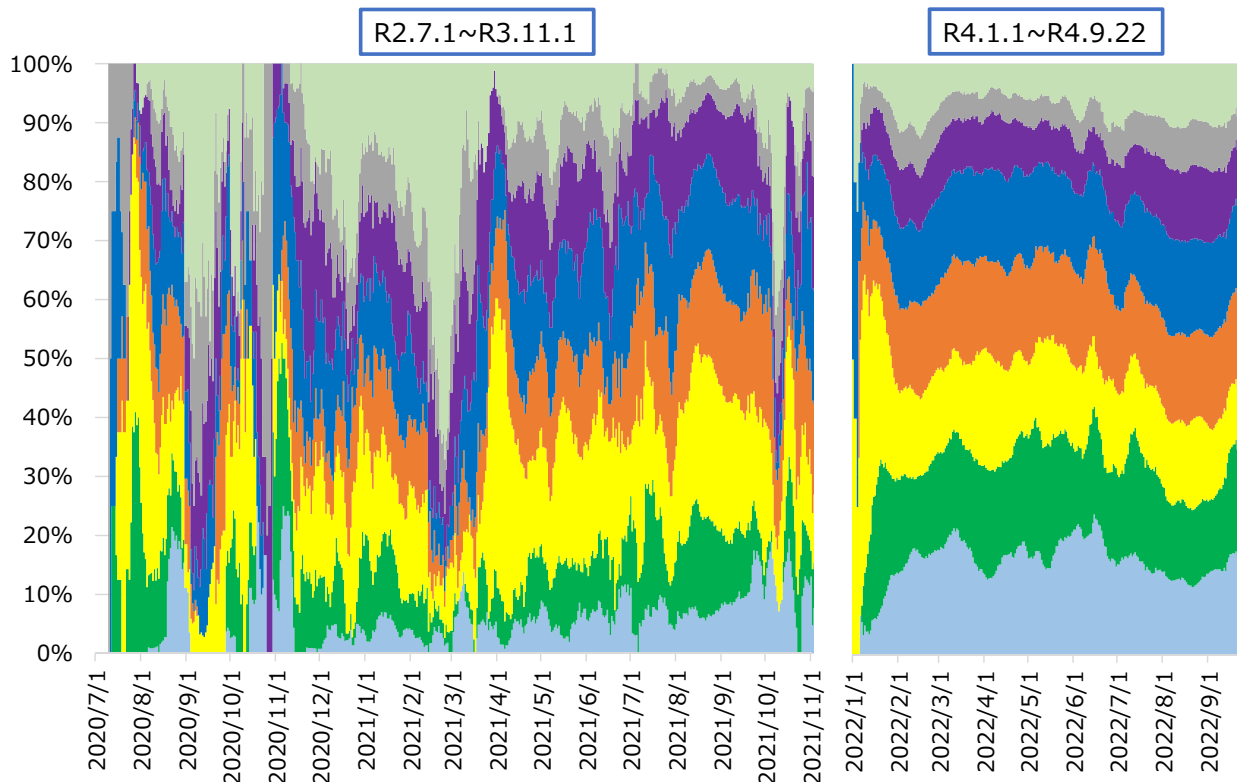
2

三重県発生状況3

1週間移動平均
集計期間：R2.7.1～R4.9.22

【年代別割合】

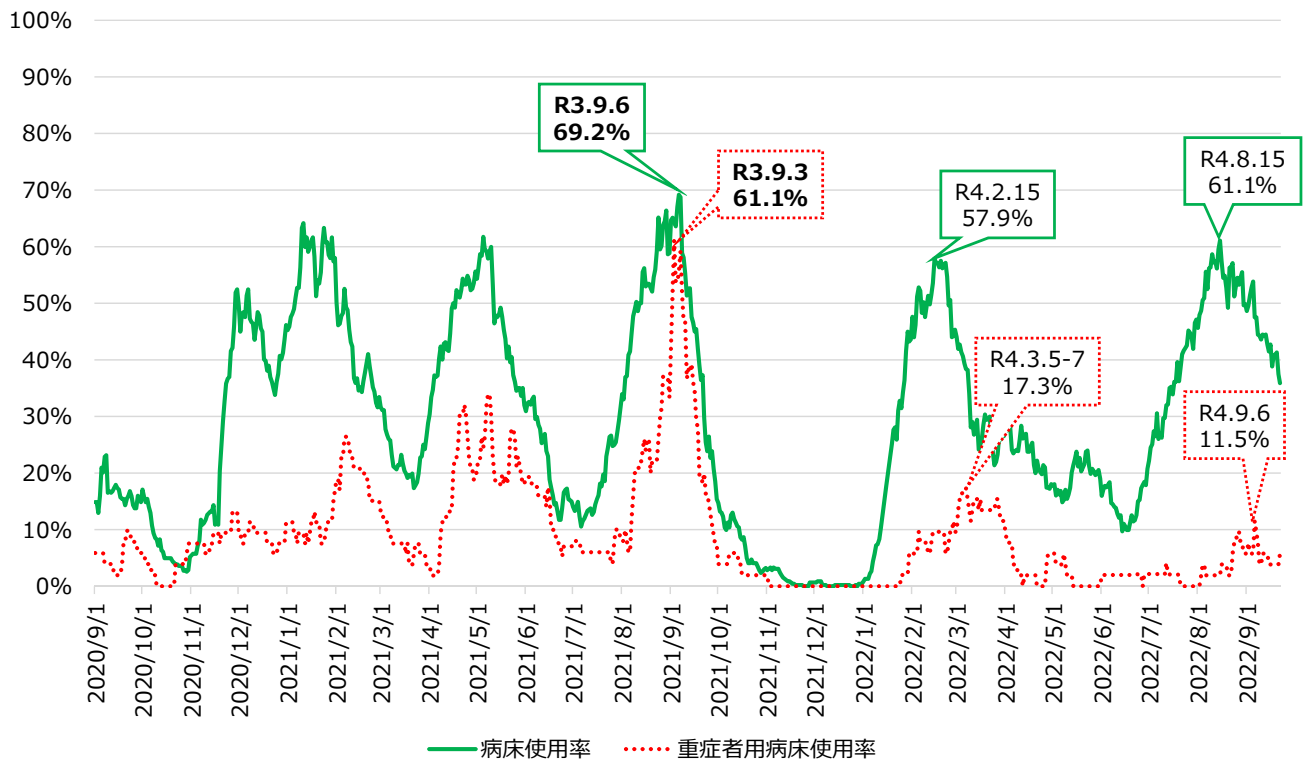
■ 10歳未満 ■ 10代 ■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代 ■ 70代以上



3

病床使用率の推移

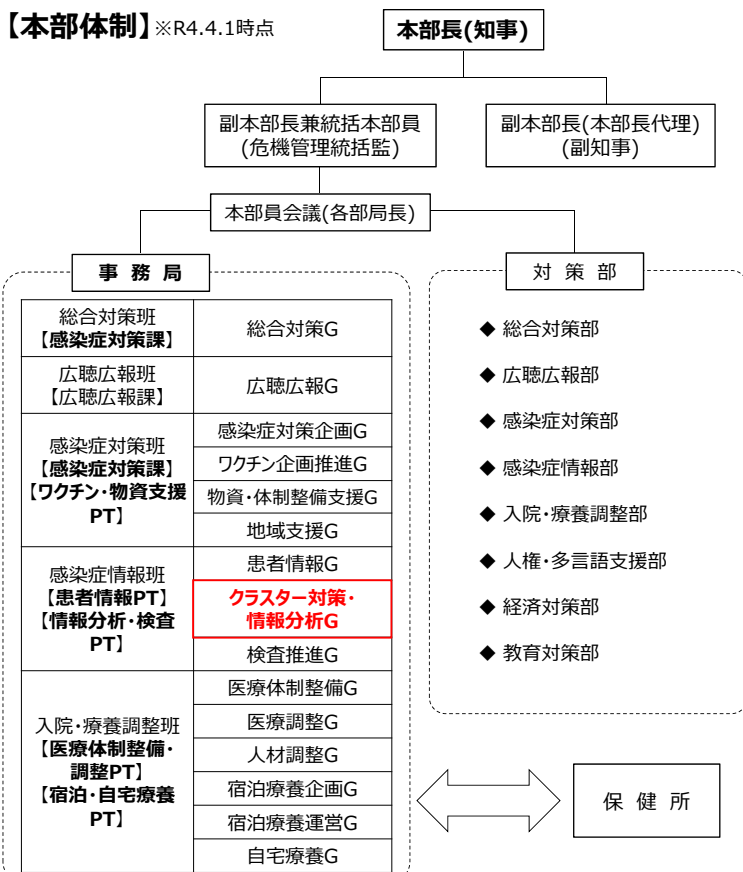
集計期間：R2.9.1～R4.9.22



4

三重県における新型コロナウイルス感染症対策

【本部体制】※R4.4.1時点

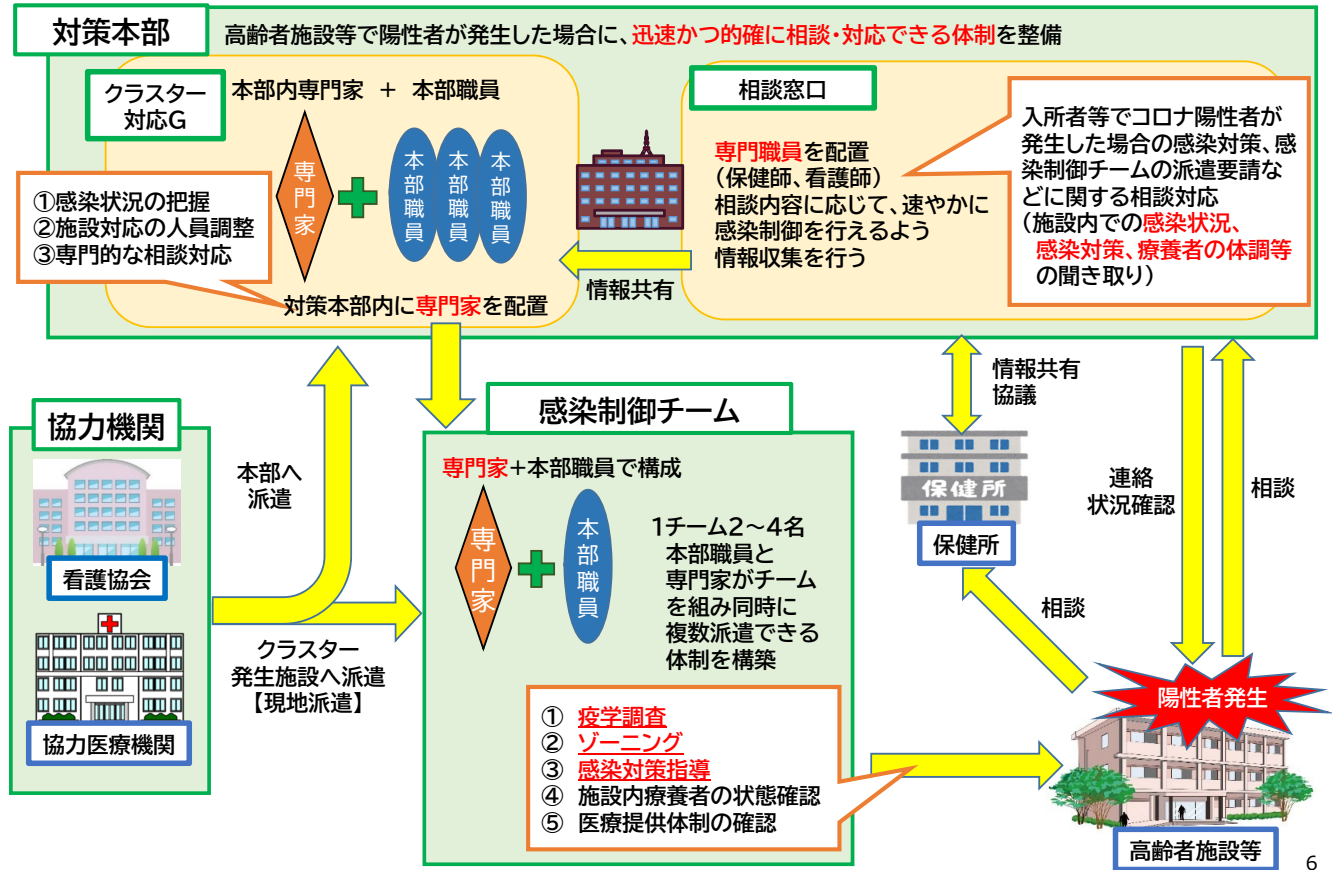


【クラスター対策の経緯】

- 令和2年4月
 - 本部事務局にクラスター対策G設置
 - 本県1例目のクラスター発生
- 令和2年7月～9月
 - クラスター対策G体制強化（専門家との連携）
 - 医療機関、高齢者施設でのクラスター発生
- 令和2年12月～令和3年2月
 - カラオケクラスター発生
 - 医療機関、高齢者施設でのクラスター増加
- 令和3年3月～5月（アルファ株）
 - 飲食店・食事会、企業でのクラスター増加
 - 高齢者施設等を対象とした社会的検査開始
- 令和3年7月～9月（デルタ株）
 - 学校関係、福祉施設でのクラスター増加
 - 高齢者施設でのブレイクスルー感染発生
- 令和4年1月～3月（オミクロン株BA1）
 - 高齢者施設、医療機関でのクラスター増加
- 令和4年4月～9月（オミクロン株BA2→BA5）
 - クラスター対策G体制強化（本部専門家設置）
 - 高齢者施設等向け専用相談窓口設置

5

三重県におけるクラスター対策体制



6

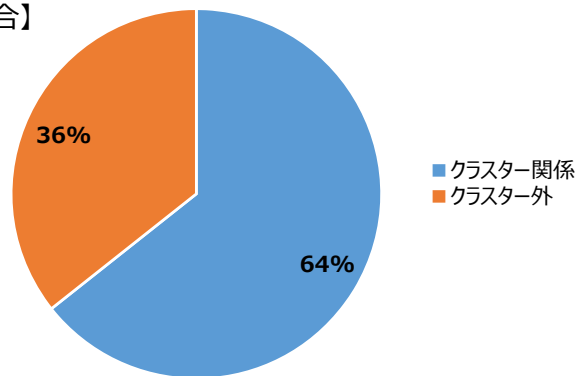
感染制御チーム活動状況

集計期間：R2.4.17～R4.9.16

【感染制御チーム対応件数】

	対応件数
クラスター関係	202件
クラスター外	114件
合計	316件

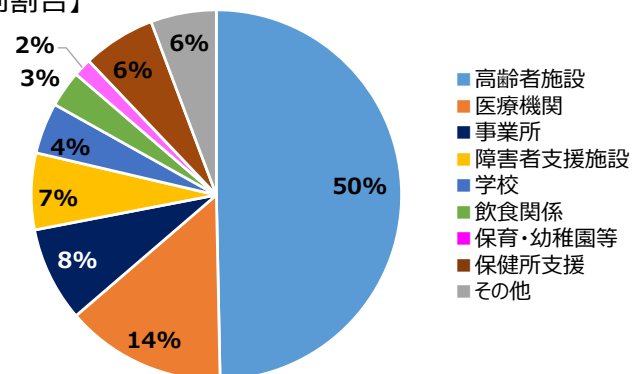
【事例別割合】



【施設種別対応件数】

	対応件数
高齢者施設	158件
医療機関	44件
事業所	26件
障害者支援施設	21件
学校	14件
飲食関係	10件
保育・幼稚園等	4件
保健所支援	21件
その他	18件
合計	316件

【施設種別割合】

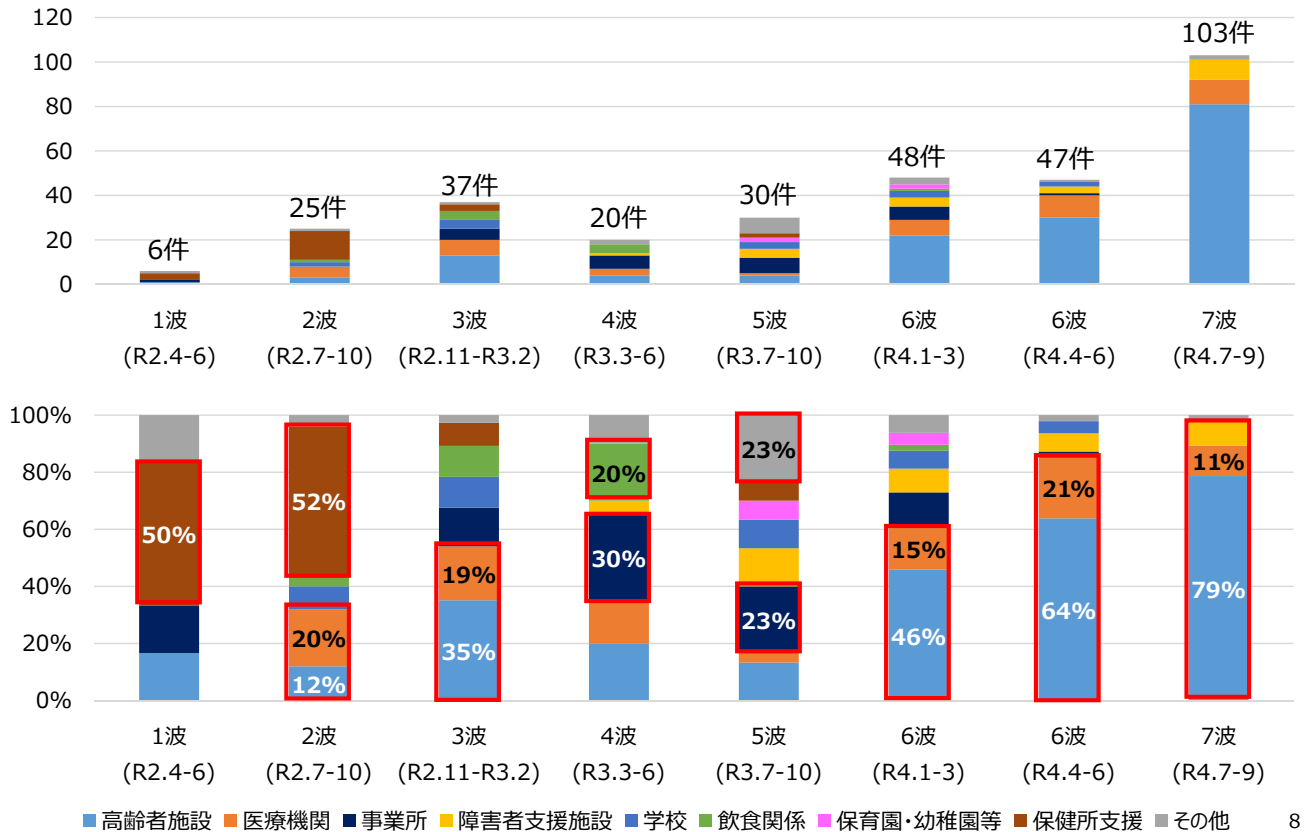


7

感染制御チーム活動状況

集計期間：R2.4.17～R4.9.16

【対応件数（期間・施設種別）】



8

専門家（医師・看護師）派遣状況

集計期間：R2.7.1～R4.9.16

【専門家派遣状況】

協力機関	派遣人数	派遣人数 (延べ)	派遣先 施設数	派遣日数 (延べ)
19機関	24名（医師4名、看護師20名）	252名	190施設	311日

【専門家派遣状況(期間別)】

波	期間	派遣人数 (のべ)	派遣先 施設数	派遣日数 (延べ)	派遣日数/人	派遣日数/人 (クラスター事例)
第2波	R2.7-10	15名	9	43	2.9	4.0
第3波	R2.11-R3.2	21名	15	51	2.4	2.4
第4波	R3.3-6	11名	5	30	2.7	2.1
第5波	R3.7-10	3名	2	5	1.7	1.5
第6波	R4.1-3	30名	22	42	1.4	1.3
第6波	R4.4-6	61名	42	87	1.4	1.4
第7波	R4.7-9	111名	95	122	1.1	1.1

9

活動内容 1（友人・事業所等）

【目的】

- ・ クラスター全体像の把握
- ・ クラスターを起点とした更なる感染拡大の防止

【活動内容】

- ・ 情報整理（ガントチャート、相関図の作成等）
- ・ 現地調査（関係者への聞き取り、施設ラウンド等）
- ・ 関係者との情報共有

【主な事例】

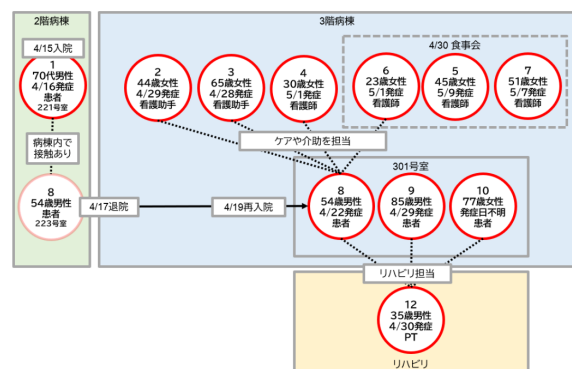
- ・ 友人間での複数の集まり（遊興、会食等）によるクラスター
- ・ 事業所内（工場、社員寮）で発生したクラスター

症例経過チャートの例※

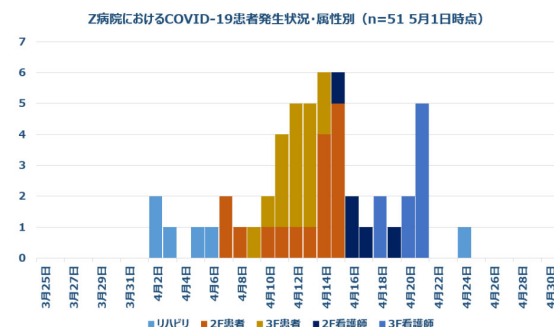
○×病院におけるCOVID-19患者経過チャート

患者	性別	年齢	3/15	3/16	3/17	3/18	3/19	3/20	3/21	3/22	3/23	3/24	3/25	3/26	3/27	3/28	3/29	3/30	3/31	4/1	4/2	4/3	4/4	4/5	4/6	4/7	4/8	4/9	4/10	4/11
1	男	54																												
2	男	70																												
3	男	45																												
4	男	50																												
5	男	48																												
6	男	70																												
7	男	62																												
8	男	45																												
9	男	45																												
10	男	77																												
11	男	70																												
12	男	62																												
13	男	70																												
14	男	60																												

リンク図の例※



流行曲線の例（その2）※



※出典 国立感染症研究所感染症疫学センター「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)医療施設内発生対応チェックリスト（2020年7月8日）」

10

活動内容 2（医療機関・高齢者施設等）

【目的】

- ・ クラスター全体像の把握
- ・ クラスターを起点とした更なる感染拡大の防止（感染を拡げない、感染しない）

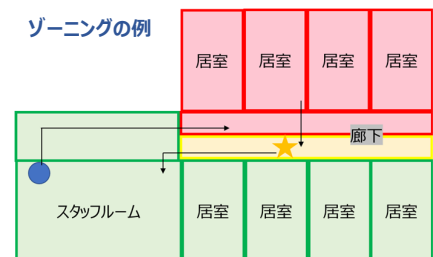
【活動内容】

- ・ 情報整理（ガントチャート、相関図の作成等）
- ・ **現地对策本部**の立ち上げ
- ・ **ゾーニング**
- ・ 実技指導、研修の開催

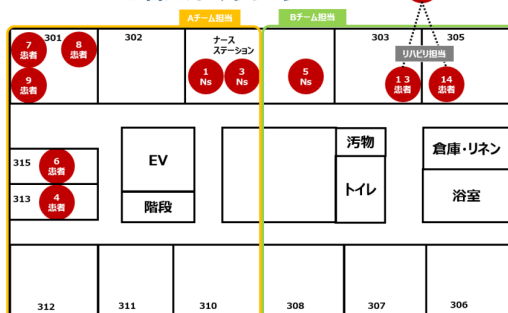
【主な事例】

- ・ 医療機関（一般、療養、精神科等）で発生したクラスター
- ・ 高齢者施設（老健、特養、有料、サ高住等）で発生したクラスター
- ・ 障害者支援施設（入所系）で発生したクラスター

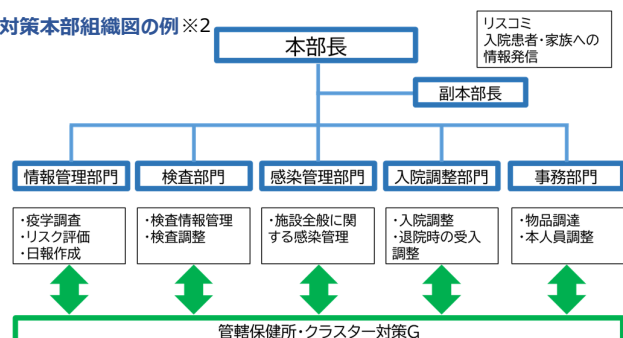
ゾーニングの例



COVID-19患者病床マップの例※1



対策本部組織図の例※2



※1：出典 国立感染症研究所感染症疫学センター「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)医療施設内発生対応チェックリスト（2020年7月8日）」

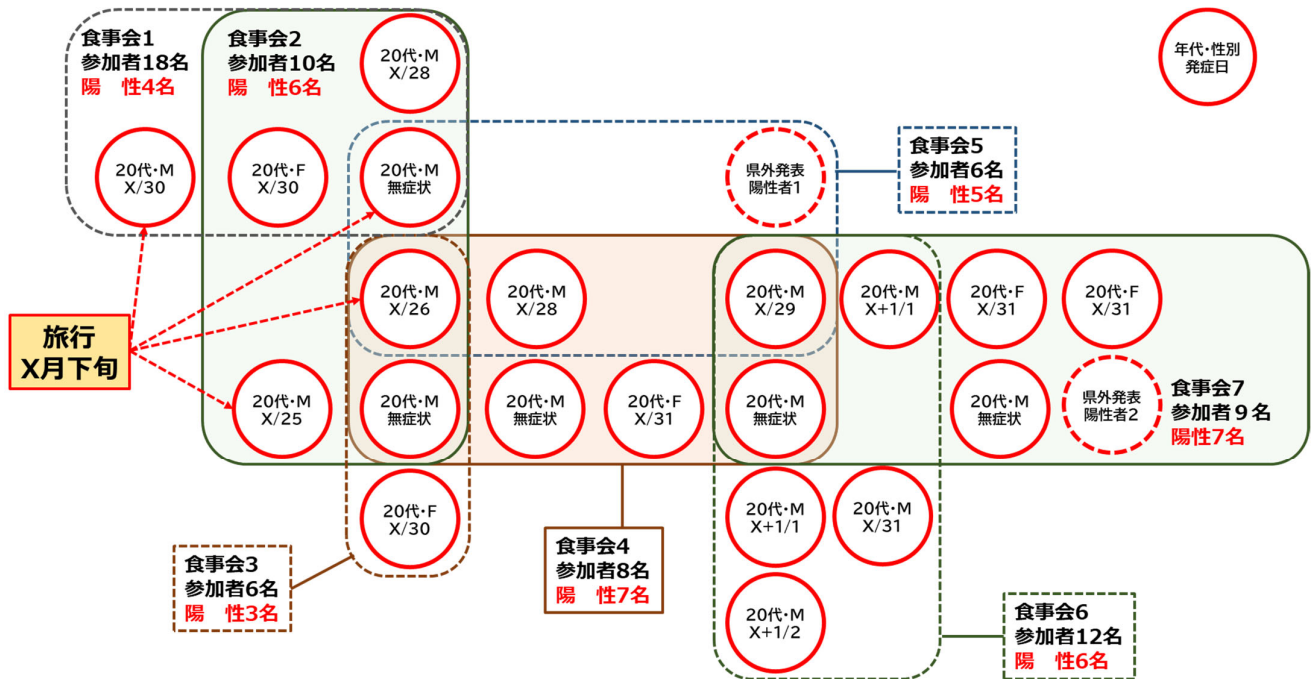
※2：2020年9月6日厚生労働省クラスター対策班中間報告資料抜粋・一部加筆

11

事例紹介 1

友人間クラスター

- ・ 県外旅行をしていたグループが発端と考えられるクラスター
- ・ 発症前後に**多人数が集まる食事を連日開催**していたことから、感染が拡大

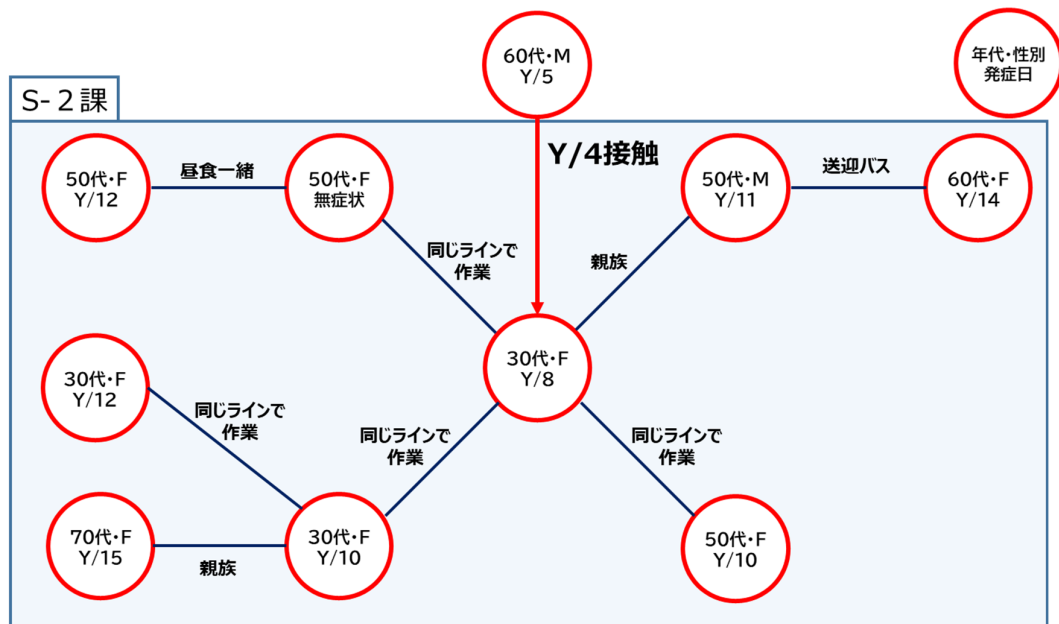


12

事例紹介 2

職場（工場）クラスター

- ・ 職場外で感染した職員が発端と考えられるクラスター
- ・ 同じラインで作業している職員を中心に感染が拡大
- ・ 仕事中はマスク着用していたが、休憩場所等において**マスク未着用で会話**していたことから感染が拡大

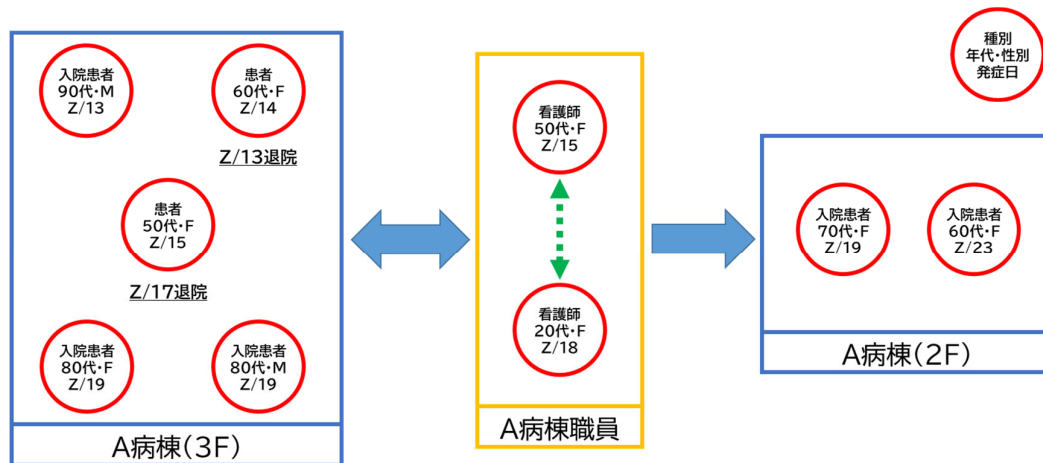


13

事例紹介3

医療機関クラスター

- 看護師 1 名の陽性判明を受け、入院患者等のスクリーニング検査を行い複数名の陽性判明
- 感染に気付かないまま勤務を継続**していたことで、別フロア(2F)へ感染が拡大
- 休憩室やロッカーは**換気が悪く**、密になりやすい環境における感染も考えられた（職員間）

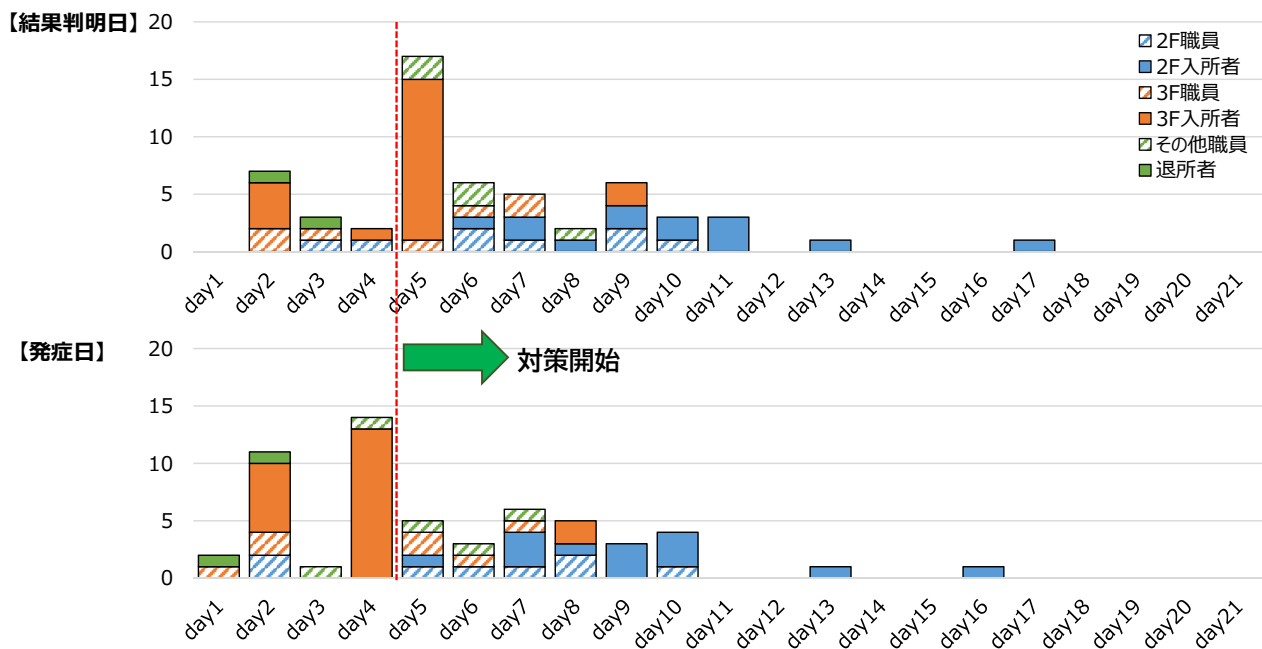


14

事例紹介4

高齢者施設クラスター

- 3F入所者で体調不良者が複数発生し、スクリーニング検査を行ったところ陽性判明
- 入所者はホールに集まって過ごすことが多く、**密な環境が発生**していたことで感染が拡大
- 夜勤等で職員が**階を跨いで勤務**していたことで、2Fへ感染が拡大

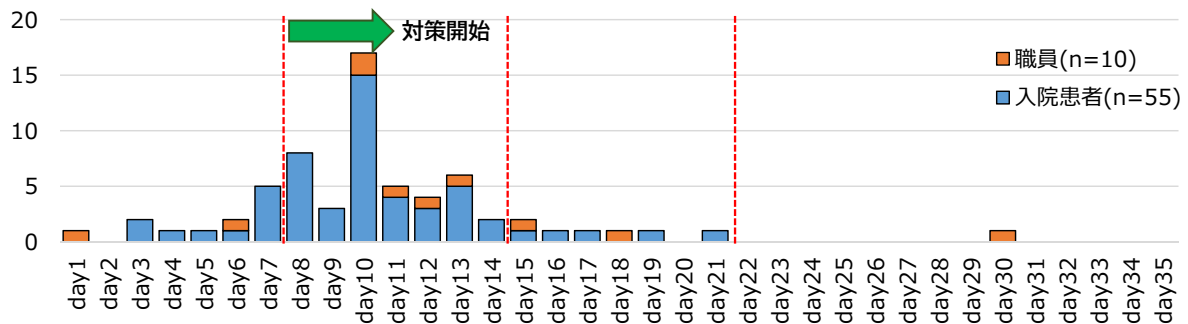


15

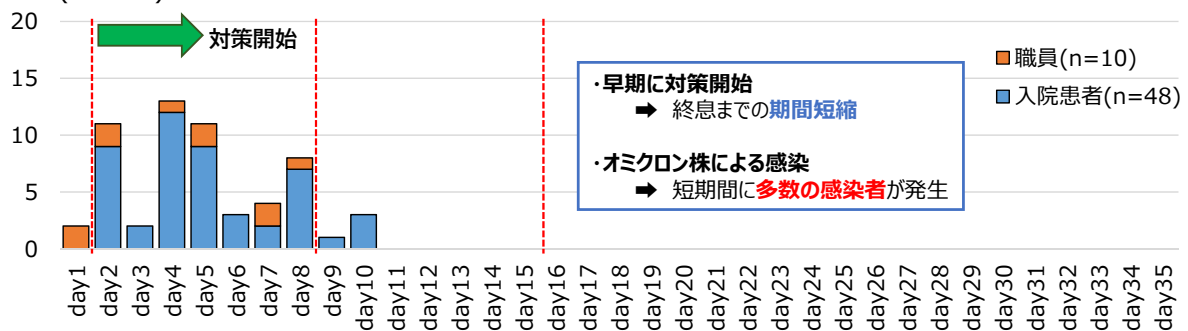
発生状況の比較（従来株・オミクロン株）

- いずれも単一病棟（60床）で発生したクラスター
- 両事例とも**同程度の感染者数**であるが、B病院の方がA病院クラスターに比べて**発生期間は短い**

【A病院(R2年度)】



【B病院(R4年度)】



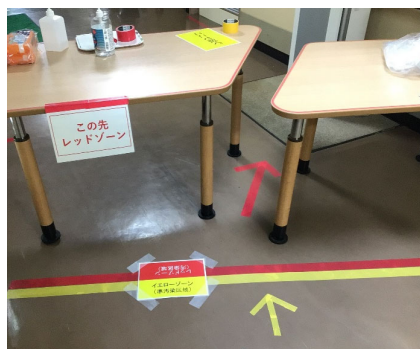
16

活動の様子（ゾーニング）



17

活動の様子（ゾーニング）



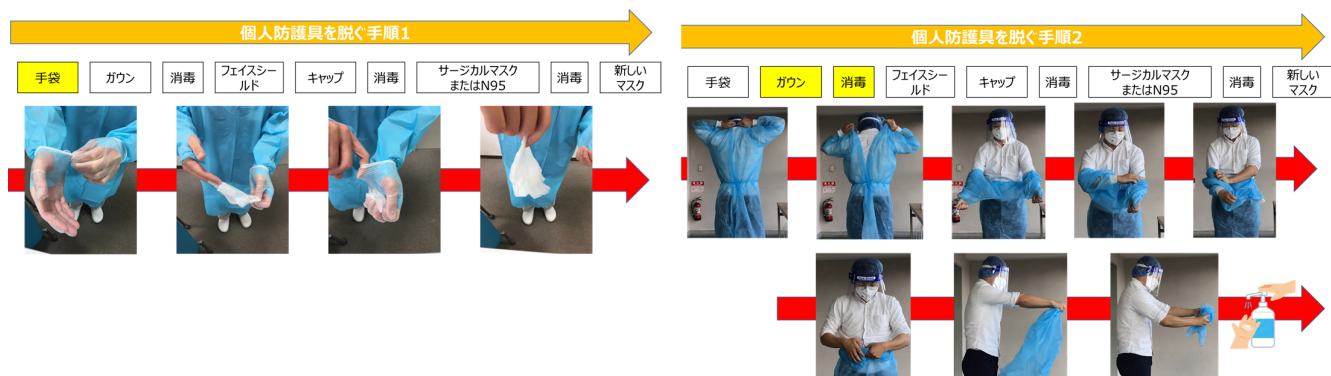
18

活動の様子（実技指導）



19

防護服着脱方法資料



【防護服の着脱方法動画】



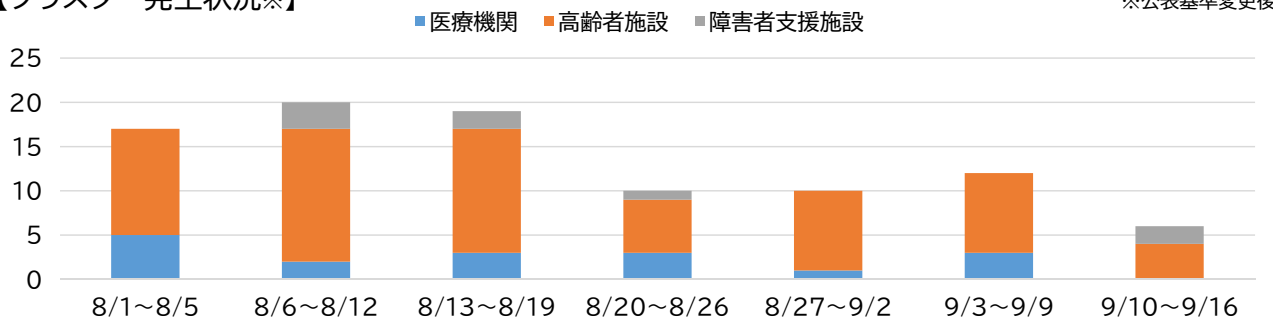
【URL】 <https://www.pref.mie.lg.jp/MOVIE/v1102400002.htm>

20

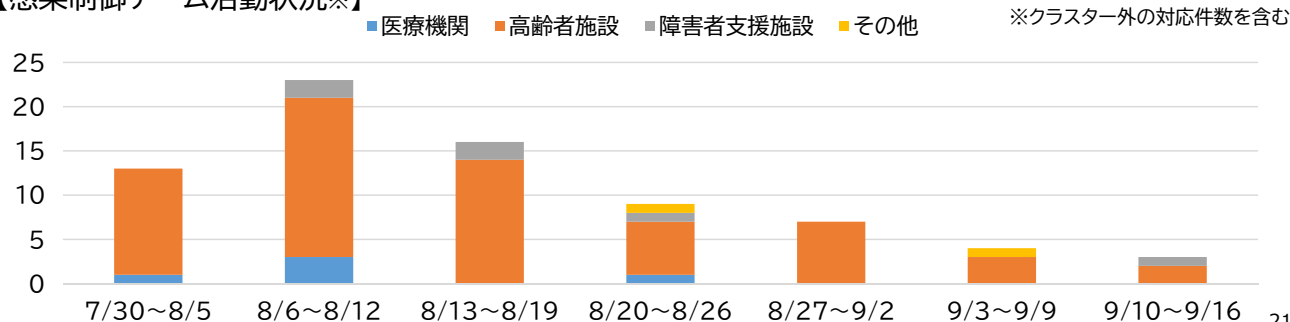
クラスター発生・感染制御チーム活動状況

- ◆ 8月以降、クラスター発生件数は**94件**（医療機関：17、高齢者施設69、障害者支援施設8）、8月初旬～中旬にピーク(**20件/週**)を迎え、直近は10件/週 程度で推移
- ◆ 感染制御チーム活動状況は、ピーク時**23件/週**、直近は減少傾向

【クラスター発生状況※】



【感染制御チーム活動状況※】



21

高齢者施設等における医療支援体制の徹底・強化

- 今冬の感染拡大では、高齢者にも多くの感染が生じている地域では、病床等の逼迫の状況などにより、高齢者施設等の入所者で感染された方について、施設内での療養を余儀なくされる状況が生じた。
- このため、高齢者施設等で療養される方への医療支援の更なる強化について、3月18日に事務連絡を発出し、高齢者施設等に対して協力医療機関の確保の有無等の調査の実施をしつつ、取組を要請。(4月22日までに取組結果を国に報告する予定。)
- オミクロン株による感染の再拡大に備えて、上記の対策の徹底・強化を図るため、下記の内容について、事務連絡を発出する。

1. 目指すべき医療支援の体制について

(感染制御や業務継続の支援体制について)

- 入所者に陽性者が発生した施設(※)については、派遣を希望しない場合等を除き、24時間以内(遅くとも一両日中)に感染制御・業務継続支援チームを派遣できる体制の構築を目指す。(沖縄では、陽性者が発生した施設のうち6割に派遣。) また、施設等が、陽性者が発生した場合の相談先を理解していることが重要であり、都道府県に専用の相談窓口を設置するとともに、その窓口等について施設への個別の周知等を実施する。

※ 介護老人福祉施設、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護、介護老人保健施設、介護医療院、特定施設入居者生活介護、地域密着型特定施設入居者生活介護、認知症対応型共同生活介護、養護老人ホーム、軽費老人ホーム、有料老人ホーム及びサービス付き高齢者向け住宅

(医師や看護師による往診・派遣を要請できる医療機関を事前に確保できていることの確認について)

- 全ての施設等において、必要な場合に医師や看護師による往診等の医療を確保できる体制となっていることを確認する。
具体的には、今回、施設に実施中の調査において、以下のいずれかに該当する旨の回答を全ての施設等から得ることを目指す。
 - ・ 医師・看護師の往診・派遣を要請できる協力医療機関を事前に確保できている(嘱託医・当該施設等の医師がコロナ治療に対応できる場合を含む。)
 - ・ 各自自治体が指定する医療機関や医療チームの往診派遣を要請できる
- このため、施設等の判断の参考となるよう、圏域・地域ごとに往診・派遣できる協力医療機関を指定・登録する仕組みを設け、施設等に対し提示することが考えられる。

(体制構築に向けた取組について)

- 都道府県の体制構築にあたっては、医療関係部局と介護関係部局が密接に連携し、地域の医療関係者・施設関係者、市町村の福祉部局と協議しつつ、構築していくことが重要。
- 国としても、都道府県の医療関係部局・介護関係部局それぞれから個別に相談できる伴走型の体制を構築する。

2. 高齢感染者の受入れを想定したコロナ対応病床の更なる確保や回転率向上について

- 医療機関に対し、以下について、積極的な働きかけを実施。
 - ・ 臨時の医療施設をはじめとする既存の確保病床について、要介護の高齢者に対応した人員配置、環境整備を行うことによる、高齢感染者の受入れのキャパシティの拡充
 - ・ 地域包括ケア病棟、慢性期病棟等における高齢の感染者の療養解除前の転院を含めた積極的な受入れ
 - ・ コロナ対応医療機関以外の医療機関に対し、後方支援医療機関として療養解除後の高齢患者の受入れ